

東北地域タマネギ 栽培セミナー2026

東北タマネギ生産促進研究開発プラットフォーム公開セミナー
令和7年度農研機構東北農業研究センターアドバイザリーボード（園芸）

1.16(金) 13:00~16:30

国産タマネギの周年供給力の強化に向け、夏季の端境期出荷が可能な東北地域等への新たなタマネギ産地の拡大に期待が寄せられています。本セミナーで東北地域に適した品種の開発状況について紹介し、あわせて安定栽培に必要な技術開発について報告し、東北地域におけるタマネギ栽培の発展方向について議論します。

会場：いわて県民情報交流センター
キオクシアアイーナ7階「アイーナホール」
(岩手県盛岡市駅西通1-7-1)

定員：400名（参加料：無料）
定員になり次第締め切らせていただきます
オンライン配信は行いません



お申込みはこちらから

<https://prd.form.naro.go.jp/form/pub/naro01/onion2026>

事務局：農研機構東北農業研究センター事業化推進室
TEL:019-643-3412/3460 FAX:019-641-7794
e-mail:onion2026@ml.affrc.go.jp



主催・共催：農研機構東北農業研究センター
東北地域農林水産・食品ハイテク研究会
東北タマネギ生産促進研究開発プラットフォーム

プログラム

総合司会 柴 伸弥

(農研機構東北農業研究センター事業化推進室)

13:00- 挨拶

若生 忠幸 (農研機構東北農業研究センター 所長)
涌井 徹 (株式会社みらい共創ファーム秋田 代表)

13:20- 講演 第1部「東北向けタマネギの品種開発」

13:20-13:50 「東北向けタマネギの育種」×「気候の変化に対応した栽培法のアップデート」
山薦 翼 (株式会社渡辺採種場 育種課長)

13:50-14:20 東北農業研究センターで開発した加工・業務用タマネギ品種について
奥 聰史 (農研機構東北農業研究センター畑作園芸研究領域 研究員)

14:20- 講演 第2部「東北農業研究センターにおける研究開発状況」

14:20-14:40 東北の秋まき作型における苗づくりの個別差とその要因
稻葉 修武 (農研機構東北農業研究センター畑作園芸研究領域 研究員)

14:40-15:00 病名・病徵・農薬登録により難防除化しているタマネギ腐敗
達 瑞枝 (農研機構東北農業研究センター畑作園芸研究領域 上級研究員)

(休憩 15:00-15:10)

15:10- パネルディスカッション

座長 塚崎 光 (農研機構東北農業研究センター畑作園芸研究領域長)

16:30- 閉会